



# 佐土原ロータリークラブ週報



会 長：林 厚 雄	会 計：柳田光寛
副 会 長：岩切正司	会報委員長：宮原建樹
幹 事：藤堂孝一	

2004-2005 年度 R I テーマ

第 850 回 平成 16 年 8 月 25 日 (水)

## 本日のプログラム

1. 食 事
2. 点 鐘
3. ロータリーソング  
「我等の生業」
4. 四つのテストの唱和
5. 会 長 の 時 間
6. 幹 事 報 告
7. 委 員 会 報 告
8. フォーラム「会員増強」
9. 点 鐘

第 849 回の記録 8/18

☆会長の時間

会 長 林 厚 雄 君

皆さん今日は、私の所用で先週はお休みを頂きまして有難うございました。

岩切副会長には代役有難う御座いました。

今日の会長の時間は、私の職業の話をさせて頂きました。

お盆を過ぎてまだまだ暑さが続いています、今年は久々に暑い夏です、それで、今日はカーエアコンについて話したいと思います。

フロンガスは自然に存在しない、工業製品として人口的に作られた気体(ガス)です。主な用途には、エアコンや冷蔵庫に欠かせない「冷媒」としての利用で、機器の中に封入して使われています。また、化学的に安定していて、燃えることが無く、直接的な毒性もないという便利な性質から、冷媒以外にもスプレー缶のガスや産業用の洗浄剤、消化剤などとして広く利用されてきました。

フロンガスは空気中に放出しても無害と考えられていました。このため、スプレー缶のガスや洗浄剤はもちろん、エアコンや冷蔵庫の冷媒用フロンガスも、機器を捨てる時には空気中に放出していました。

しかし、1970年代になって、放出されたフロンガスが地球全体の環境に悪影響を与えることが分かってきます。1980年代後半からは、フロンガスに対する国際的な規制が行われるようになりました。

フロンガスの地球環境に与える悪影響は2つあり

ます。それは、「オゾン層の破壊」と「地球温暖化」です。

### オゾン層破壊

空気中に捨てられたフロンガスはゆっくりと上昇していき、オゾン層のある高度まで達すると、宇宙からの強い紫外線を受けて分解します。

「オゾンホール」とよく聞きますが、これはオゾン層が極めて薄くなっている場所のことです。最初は南極の上空で発見され、最近の観測では南極大陸の2倍までに広がっています。このため南半球の国々では、紫外線に対する警戒がとて強くなっています。

一方、北極の上空でもオゾン層の急激な減少が確認され、日本も他人事ではなくなってきました。

ちなみに、オゾン層の破壊は上空の空気が冷たい場所でも起こりやすい為、南極や北極の上空から影響が広がると言われています。

### 地球温暖化

よくいわれるように、地球温暖化の主な原因は、二酸化炭素ですが、実はフロンガスは二酸化炭素の数千倍も温暖化を進める超強力な温暖化物質です。二酸化炭素に比べれば排出量が少ないため、最近まで余り問題にされなかったのですが、地球温暖化の深刻化にとまない、その強力な温暖化の力が問題になってきました。

このフロンガスの問題は、地球環境問題としては比較的早くに発見されたため、国際的な対策が他よりは進んでいます。

「モントリオール議定書」と呼ばれる国際条約で、1995年までに先進国での生産が廃止されました。それに代わって登場したのが「代替フロン」と呼ばれる新種のフロンガスです。

代替フロンはオゾン層を破壊しません。ただ、強力な温暖化物質であることは特定フロンと同じで、空気中に放出すれば、やはり地球環境に影響を与えます。将来的には、代替フロンの規制も必要と言えます。

フロンガスの問題の理想的な対策はフロンガスの全廃ですが、現状では、エアコンや冷蔵庫などの冷却機器にフロンガスは欠かせません。そこでフロンガス以外で働く冷却機器の開発も進められています。(二酸化炭素・アンモニア等が有力視されている。)

例会場：石崎浜荘 0985-73-1913 事務局：〒880-0211 宮崎県佐土原町大字下田島 20614-29

例会日：毎週水曜日 12:30 ~ 13:30 TEL: 0985-73-7170 FAX: 0985-73-7170

